

ハムスターを飼う前に

その3. 元気でいてもらいたいから気をつけること

事故によるけがに注意

ケージに足をはさんで骨折したり、室内を歩き回っているときに人間が誤って踏んでしまう事故がみられます。

ハムスターは活動的な動物なので、事故には十分注意してください。

仲良しでもいっしょのケージで飼わないで

『買ったときは仲良しだったからずっとひとつのケージで飼いたい』『オスメスを一緒のケージで飼って増やしたい』
そう思って2匹以上を同居させていると大ゲンカが起き、けがをしたり、死んでしまうことがあります。

ハムスターは単独飼育が基本です。何匹も飼いたい場合にはそれぞれのケージを用意してあげてくださいね。



ハムスターがなりやすい病気

切歯の異常が最も多くみられます。また、ハムスターは腫瘍ができやすく、かなり大きくなる場合もあります。メスでは子宮疾患がみられることがあります。高齢のハムスターは腎疾患になることも多く、尿量の増加などがみられます。

仲良くなったのにもうお別れの…？

とても慣れて、家族の一員として楽しく過ごしていたハムちゃん。残念なことに犬猫や小鳥などと比べてとても寿命が短く、ジャンガリアンタイプでは約2年、ゴールデンタイプでも約3年ほどでお別れしなくてはなりません。

かわいいペットだけにその時が来るのがつらいですが、楽しい思い出もたくさんできるでしょうね。

愛情とお世話をきちんとする責任感を持って、
かわいいハムちゃんを迎えてください。

